

第 5 期

(平成 24 ~ 26 年度)

久留米市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画  
進捗状況評価

Ⅲ. 施策体系ごとの評価と課題 (概要)

平成 26 年 11 月

久留米市

健康福祉部 長寿支援課・介護保険課

## 目 次

1. 健康づくりと介護予防の推進	P. 1
2. 地域包括ケア体制の整備・推進	P. 2
3. 高齢者の権利擁護	P. 4
4. 認知症高齢者とその家族の支援	P. 6
5. 生活環境の整備	P. 8
6. 高齢者の積極的な社会参加	P. 10
7. 介護保険事業の円滑な実施	P. 12
8. 介護サービス基盤の整備	P. 14
9. 介護保険サービス量の見込み	P. 15
10. 介護保険料等	P. 15

### 【本編における注意事項】

※事業名に下線のあるものは、指標を設定している事業

※事業名の後に（★）のあるものは、第5期計画における新規事業

## 1. 健康づくりと介護予防の推進

### 【施策の方向性】

高齢者ができるかぎり健康を維持し、要支援・要介護の状態にならないために、高齢者一人ひとりの健康づくりと、介護予防を推進していく。

- (1) 健康づくりの推進
- (2) 介護予防の推進

#### (1) 健康づくりの推進

評価	目標以上の成果があった	目標を概ね達成	目標に届かなかった
事業数 (総事業数5)	0	2	3
事業名		<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康教育・健康相談</li> <li>・心の健康相談</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特定健康診査・特定保健指導等</li> <li>・<u>血圧改善支援事業(★)</u></li> <li>・校区等ウォーキング事業補助</li> </ul>

#### (2) 介護予防の推進

評価	目標以上の成果があった	目標を概ね達成	目標に届かなかった
事業数 (総事業数6)	1	3	2
事業名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>通所型介護予防事業</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・二次予防事業の対象者把握事業</li> <li>・訪問型介護予防事業</li> <li>・介護予防事業評価事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護予防普及啓発事業</li> <li>・<u>地域介護予防活動支援事業(★)</u></li> </ul>

### 【施策の評価】

- 各種事業の実施により健康づくりを推進し、特に特定健康診査及び特定保健指導については土曜・日曜にも実施するなど参加しやすい環境づくりを図った。しかしながら、特定保健指導においては、利用率は全国、県内に比べ低迷している状況である。
- 各種新規事業の実施により介護予防事業の充実に取り組んだ。特に、通所型・訪問型の二次介護予防事業への参加者は増加傾向にある。

評価	目標以上の成果があった	目標を概ね達成	目標に届かなかった
事業数 (総事業数11)	1	5	5

### 【施策の課題】

- 若年層の健診等に係る受診率向上及び参加促進が課題である。
- 介護予防事業の参加者が、事業後においても介護予防に自主的に取り組んでいくよう促していく必要がある。

## 2. 地域包括ケア体制の整備・推進

### 【施策の方向性】

高齢者が住み慣れた地域で、安心して尊厳あるその人らしい生活を継続するため、公的サービスのみならず、地域のインフォーマルな多様な社会資源を活用した包括的及び継続的な支援（地域包括ケア）体制の整備・推進を図る。

- (1) 地域包括支援センターを中心とした地域包括ケア体制の構築
- (2) 単身高齢者及び高齢者世帯の在宅生活支援
- (3) 介護家族への支援
- (4) 災害時のための援護体制

#### (1) 地域包括支援センターを中心とした地域包括ケア体制の構築

評価	目標以上の成果があった	目標を概ね達成	目標に届かなかった
事業数 (総事業数 1)	0	0	1
事業名			・ <u>地域包括支援センター運営事業</u>

#### (2) 単身高齢者及び高齢者世帯の在宅生活支援

評価	目標以上の成果があった	目標を概ね達成	目標に届かなかった
事業数 (総事業数 4)	0	4	0
事業名		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高齢者配食サービス事業</li> <li>・ 緊急通報システム貸与事業</li> <li>・ <u>小地域ネットワーク活動の推進</u></li> <li>・ <u>地区ふれあい活動コーディネーターの育成</u></li> </ul>	

#### (3) 介護家族への支援

評価	目標以上の成果があった	目標を概ね達成	目標に届かなかった
事業数 (総事業数 3)	0	2	1
事業名		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生活支援ショートステイ事業</li> <li>・ 介護用品支給事業</li> </ul>	・ <u>家族介護教室</u>

#### (4) 災害時の援護体制

評価	目標以上の成果があった	目標を概ね達成	目標に届かなかった
事業数 (総事業数 3)	0	2	1
事業名		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>一人暮らし高齢者宅等への防火指導</u></li> <li>・ <u>介護保険施設等への防火指導</u></li> </ul>	・ <u>災害時要援護者の支援</u>

### 【施策の評価】

- 高齢者やその家族からの総合的な相談対応の実施など、地域における地域包括支援センターの重要性が高まってきている中で、同センターの増設などにより、地域住民の心身の健康の保持や生活の安定のための支援を図った。
- 配食サービスや緊急通報システムの貸与等により、高齢者の在宅生活を支援したほか、在宅介護を行っている家族への支援を拡充（介護用品支給事業）するなど、その孤立化防止や負担軽減に努めた。
- 災害時要援護者名簿の作成・共有及び高齢者や介護保険施設等への防火指導の実施により、地域と連携して災害時の避難に支援が必要な高齢者等を支える体制の整備に努めた。

評価	目標以上の成果があった	目標を概ね達成	目標に届かなかった
事業数 (総事業数11)	0	8	3

### 【施策の課題】

- 身近な相談機関である地域包括支援センターの市内11圏域における整備の促進と業務実施体制の整備・充実が課題である。また、地域包括支援センターを中核機関として、関係機関・団体、地域が緊密に連携した地域包括ケア体制の構築が課題となっている。
- 在宅生活を支援する事業の充実へ向けて、ニーズの把握をはじめ事業のあり方について引き続き検討する必要がある。

### 3. 高齢者の権利擁護

#### 【施策の方向性】

高齢者一人ひとりの個人を尊重し、尊厳を保持することが必要である。どのような心身の状態であっても、自己決定により、その人らしい自立した質の高い生活と人生を維持することができるように支援する。

- (1) 虐待防止及び発生時の適切かつ迅速な対応へのネットワーク構築
- (2) 悪質商法等の被害や人権侵害からの保護
- (3) 成年後見制度の普及
- (4) 高齢者の権利擁護等に関する相談支援

#### (1) 虐待防止及び発生時の適切かつ迅速な対応へのネットワーク構築

評価	目標以上の成果があった	目標を概ね達成	目標に届かなかった
事業数 (総事業数 2)	0	2	0
事業名		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域包括支援センター</li> <li>総合相談、権利擁護事業</li> <li>・高齢者虐待防止推進</li> </ul>	

#### (2) 悪質商法等の犯罪や人権侵害からの保護

評価	目標以上の成果があった	目標を概ね達成	目標に届かなかった
事業数 (総事業数 1)	1	0	0
事業名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消費者被害の防止と救済</li> </ul>		

#### (3) 成年後見制度の普及

評価	目標以上の成果があった	目標を概ね達成	目標に届かなかった
事業数 (総事業数 2)	0	1	1
事業名		<ul style="list-style-type: none"> <li>・成年後見・相談事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民後見人の育成(★)</li> </ul>

#### (4) 高齢者の権利擁護等に関する相談支援

評価	目標以上の成果があった	目標を概ね達成	目標に届かなかった
事業数 (総事業数 2)	0	2	0
事業名		<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者相談事業</li> <li>・女性の生き方支援のための相談</li> </ul>	

### 【施策の評価】

- 地域包括支援センターにおいては、高齢者の権利擁護や虐待に関する相談件数が増加傾向にあり、地域における同センターの重要性が高まっている中、その増設や地域ケア会議の実施による地域課題の把握・分析を進め、その機能の充実・強化を図った。
- 継続的な啓発の実施により、高齢者虐待防止や成年後見制度に関する一定の理解を得ることができた。また、成年後見制度の利用促進のための整備に取り組んでいる。(H26年10月開設)
- 様々な問題を抱える高齢者からの、相談に対応し、関係機関等と連携して問題解決へ向けた支援を行った。

評価	目標以上の成果があった	目標を概ね達成	目標に届かなかった
事業数 (総事業数7)	1	5	1

### 【施策の課題】

- 高齢化の進展等に伴い多様化する相談内容への対応するため、地域包括支援センターをすべての日常生活圏域に設置するとともに、その体制を強化していく必要がある。
- 高齢者の権利擁護に関し、地域包括支援センターを含めた体制づくりに取り組むとともに、地域において表面化していない問題や対応が困難なケースが、未だ存在すると考えられ、今後それらをどのように掘り起こし解決していくかが課題である。
- 市民後見人候補者のスキル向上のため、定期的なフォローアップ研修・実務研修の実施が不可欠である。また、市民後見人の個人受任の実現へ向けた取組みを進める必要がある。

## 4. 認知症高齢者とその家族の支援

### 【施策の方向性】

今後、高齢者の増加とともに認知症高齢者の増加が予想され、これまで以上に認知症高齢者を社会全体で支援していく必要がある。本人のケアはもとより、介護する家族等への支援を図るとともに、高齢者を取りまくすべての人が認知症への理解を深め、自らの問題として認識し、高齢者の尊厳が保持される環境を整備していく。

- (1) 認知症予防の推進
- (2) 認知症高齢者と家族の総合支援
- (3) 認知症の啓発推進、サポーター等養成
- (4) 認知症高齢者の地域での見守り

#### (1) 認知症予防の推進

評価	目標以上の成果があった	目標を概ね達成	目標に届かなかった
事業数 (総事業数 1)	0	1	0
事業名		・ 認知症予防に向けた 介護予防事業の実施	

#### (2) 認知症高齢者と家族の総合支援

評価	目標以上の成果があった	目標を概ね達成	目標に届かなかった
事業数 (総事業数 4)	0	3	1
事業名		・ ものわすれ相談 ・ 日常生活自立支援事業 ・ 認知症ケアスタッフ活動支援事業	・ 医療と介護の連携支援

#### (3) 認知症の啓発推進、サポーター等養成

評価	目標以上の成果があった	目標を概ね達成	目標に届かなかった
事業数 (総事業数 1)	1	0	0
事業名	・ 認知症サポーター、 キャラバン・メイトの養成		

#### (4) 認知症高齢者の地域での見守り

評価	目標以上の成果があった	目標を概ね達成	目標に届かなかった
事業数 (総事業数 2)	0	1	1
事業名		・ 地域における見守り活動の推進	・ SOSネットワーク事業



### 【施策の評価】

- 新たな事業の開始により、認知症予防に向けた取組みの充実を図った。
- 認知症高齢者の増加に伴い、本人やその家族等への支援及びその体制の充実はますます重要となっていくと考えられる。
- 認知症サポーター及びキャラバン・メイトの着実な養成を通して、地域において認知症についての理解が広まっている。
- 認知症高齢者の地域における見守りにおいては、SOSネットワークの機能が十分に発揮されていない。

評価	目標以上の成果があった	目標を概ね達成	目標に届かなかった
事業数 (総事業数8)	1	5	2

### 【施策の課題】

- 身近な場所で認知症を早期発見できる体制づくりを検討していく必要がある。
- 養成した認知症サポーター及びキャラバン・メイトを活用し、認知症高齢者を地域で支えあう仕組みを作っていくことが、今後さらに求められる。
- 地域における見守りについては、より効率的・効果的な徘徊情報の伝達に係る経路・手段の見直しが必要であるとともに、関係機関等がさらに連携しながら取り組んでいく仕組みづくりが必要である。

## 5. 生活環境の整備

### 【施策の方向性】

高齢化の急速な進行、単身高齢者世帯、高齢者のみ世帯の増加等、高齢者を取り巻く環境が急速に変化する中、高齢者が可能な限り住み慣れた地域で生活し、社会とのかかわりを持ち続けていくためには、一人ひとりの心身の状況、世帯状況等に応じた快適な居住空間・生活空間を確保することが必要である。

そのために、高齢者の様々なニーズに応じた住まいの提供、安全・快適に利用することができる公共施設等の整備等を推進する。

- (1) 高齢者が安心して暮らせる住居等の整備
- (2) ユニバーサルデザインのまちづくり
- (3) 高齢者が円滑に移動できる交通環境の整備

#### (1) 高齢者が安心して暮らせる住居等の整備

評価	目標以上の成果があった	目標を概ね達成	目標に届かなかった
事業数 (総事業数 6)	0	4	2
事業名		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 単身高齢者の住宅確保支援</li> <li>・ サービス付き高齢者向け住宅</li> <li>・ 有料老人ホーム</li> <li>・ 高齢者住宅改造費の補助</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市営住宅のバリアフリー化</li> <li>・ 地域優良賃貸住宅の整備</li> </ul>

#### (2) ユニバーサルデザインのまちづくり

評価	目標以上の成果があった	目標を概ね達成	目標に届かなかった
事業数 (総事業数 3)	0	3	0
事業名		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ユニバーサルデザインの視点から公共施設等の整備、バリアフリー化</li> <li>・ 歩道のバリアフリー化</li> <li>・ タウンモビリティ事業の実施</li> </ul>	

#### (3) 高齢者が円滑に移動できる交通環境の整備

評価	目標以上の成果があった	目標を概ね達成	目標に届かなかった
事業数 (総事業数 1)	0	0	1
事業名			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生活支援交通の確保</li> </ul>

### 【施策の評価】

- 単身高齢者への市営住宅の入居支援、市営住宅のバリアフリー化により、高齢者が安心して生活できる居住の確保及び環境の改善が推進された。
- 高齢者の多様化する居住ニーズに応じ、その安定を図るため、サービス付き高齢者向け住宅や有料老人ホームの適切な運営を促進した。
- 公共施設等のバリアフリー化を促進し、その安全性、快適性の向上に努めた。
- 高齢者が安心して外出し、また住み慣れた地域で安心して生活できるために、中心市街地への外出や生活交通の確保に努めた。

評価	目標以上の成果があった	目標を概ね達成	目標に届かなかった
事業数 (総事業数10)	0	7	3

### 【施策の課題】

- 賃貸住宅の整備にあたっては、新築を推進していくよりも、既存ストックの活用や既存住宅の除去・活用を前提とした建替えの推進を検討する必要がある。
- 外出や移動に係る支援については利用者が伸びておらず、現行制度等の見直しが必要である。

## 6. 高齢者の積極的な社会参加

### 【施策の方向性】

高齢化が益々進展する社会において、高齢者は地域における貴重な担い手として期待されている。高齢者が有する豊かな技術、長年の社会的経験によって蓄積された豊富な知識等が有効に活用されるよう、高齢者の能力を地域社会へ還元できる社会参加の環境整備を推進するとともに、就業・健康づくり・ボランティア等の社会貢献活動、生涯学習やスポーツを通じての交流等の各方面から、高齢者の生きがいを推進していく。

- (1) 高齢者の就業支援
- (2) 高齢者間及び高齢者と他世代との交流促進
- (3) 生涯学習・生涯スポーツの推進
- (4) 社会貢献活動の促進

#### (1) 高齢者の就業促進

評価	目標以上の成果があった	目標を概ね達成	目標に届かなかった
事業数 (総事業数 2)	0	2	0
事業名		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>シルバー人材センター支援事業</u></li> <li>・ <u>中高年就労支援</u></li> </ul>	

#### (2) 高齢者間及び高齢者と他世代との交流促進

評価	目標以上の成果があった	目標を概ね達成	目標に届かなかった
事業数 (総事業数 3)	0	3	0
事業名		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>老人クラブ活動支援</u></li> <li>・ <u>老人いこいの家</u></li> <li>・ <u>21生き生きスクール推進事業</u></li> </ul>	

#### (3) 生涯学習・生涯スポーツの推進

評価	目標以上の成果があった	目標を概ね達成	目標に届かなかった
事業数 (総事業数 6)	1	5	0
事業名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>新たなスポーツを通じた地域の世代間交流の推進(★)</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>セカンドライフ応援講座</u></li> <li>・ <u>えーるピアシニアカレッジ</u></li> <li>・ <u>高齢者パソコン教室</u></li> <li>・ <u>高齢者社会参加促進事業(★)</u></li> <li>・ <u>生涯スポーツの推進</u></li> </ul>	

#### (4) 社会貢献活動の促進

評価	目標以上の成果があった	目標を概ね達成	目標に届かなかった
事業数 (総事業数3)	0	3	0
事業名		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民活動支援事業</li> <li>・ 高齢者社会貢献活動促進事業</li> <li>・ くるめクリーンパートナー</li> </ul>	

#### 【施策の評価】

- 新たな相談窓口の誘致や事業の拡充により、高齢者の就労支援が促進された。
- 生涯学習やスポーツ、世代間交流の機会や場の提供等の取組みが、生きがいづくりや健康づくりに対する関心を持つきっかけとなっている一方で、老人クラブ数・加入者は減少しており、また、老人いこいの家利用者が固定化している傾向にある。
- 市民活動や地域活動に関する情報発信や活動団体の事例発表の場を設けることで、活動の活性化やきっかけづくりに寄与できた。

評価	目標以上の成果があった	目標を概ね達成	目標に届かなかった
事業数 (総事業数14)	1	13	0

#### 【施策の課題】

- 高齢者のニーズに応じた就業形態・目的への対応が課題である。
- 高齢者の世代間交流の促進などに向けた老人いこいの家のあり方の検討や老人クラブのさらなる活性化に向けた取組みが必要である。

## 7. 介護保険事業の円滑な実施

### 【施策の方向性】

事業の周知・啓発や、事業運営に対する情報公開と相談の充実を図り、地域住民や介護サービス事業者、関係団体との連携し、適正・円滑な事業運営に努める。

- (1) 介護サービスの質の確保
- (2) 給付の適正化への取組み
- (3) 適正な要介護認定の実施
- (4) 介護保険制度の周知・啓発と相談体制の充実
- (5) 介護事業所における防災対策への啓発・指導

#### (1) 介護サービスの質の確保

評価	目標以上の成果があった	目標を概ね達成	目標に届かなかった
事業数 (総事業数 4)	0	4	0
事業名		<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護支援専門員・介護サービス従事者研修会</li> <li>・介護相談員による施設等入所者支援</li> <li>・介護人材の安定確保支援事業</li> <li>・介護人材の育成・定着支援事業</li> </ul>	

#### (2) 給付の適正化への取組み

評価	目標以上の成果があった	目標を概ね達成	目標に届かなかった
事業数 (総事業数 2)	0	1	1
事業名		・介護レセプトのチェック	・ケアプランのチェック

#### (4) 介護保険制度の周知・啓発と相談体制の充実

評価	目標以上の成果があった	目標を概ね達成	目標に届かなかった
事業数 (総事業数 1)	0	1	0
事業名		・認定調査員、地域包括支援センター、ケアマネジャーとの意見・情報交換会	

### 【施策の評価】

- サービスの質の確保には多方面からの取組みを行うとともに、給付適正化や適正な要介護認定の実施、介護保険制度の周知・啓発に関してはそれぞれ新たな取組みを行うことで介護保険事業の円滑な実施に努めた。
- 認定調査に係る関係機関との意見・情報交換を行うことにより、介護保険に係る関係者の連携が強まった。

評価	目標以上の成果があった	目標を概ね達成	目標に届かなかった
事業数 (総事業数7)	0	6	1

### 【施策の課題】

- サービスの質向上や給付適正化、介護人材の安定確保支援、要介護認定事務の迅速化等に継続して取り組むとともに、高齢者に解りやすい制度周知を図っていく必要がある。
- 介護保険事業の円滑な実施のために、これまで以上の関係機関との意見・情報交換・連携が必要である。

## 8. 介護サービス基盤の整備

### 【施策の方向性】

施設等への入所待機状況や施設の必要度合等を見定めながら、在宅での生活が困難な高齢者の心身状況や地域の実情を踏まえた適切な施設整備を図る。

- (1) 施設・居住系サービス
- (2) 居宅介護サービス
- (3) 地域密着型サービス（施設・居住系を除く）

#### ・老人福祉施設等整備事業（高齢者福祉施設整備促進事業）

整備施設		整備床数
介護老人福祉施設	目標	145
	実績	145
介護老人保健施設	目標	80
	実績	80（内 60 床は整備中）

#### ・新サービス整備事業（高齢者福祉施設整備促進事業）

整備施設		整備数（事業所数）
定期巡回・随時対応型 訪問介護看護	目標	1
	実績	4
複合型サービス	目標	3
	実績	4

### 【施策の評価】

- 計画に沿った施設整備により、在宅での生活が困難な要介護者の居住を確保するとともに、新サービス事業所の整備により、医療ニーズの高い利用者への対応も可能となるなど、様々な状態像の利用者に対応可能な介護サービスの基盤が整備された。

### 【施策の課題】

- 今後の施設整備について以下の点を考慮した上での検討が必要と思われる。
  - ・市内の特養申込者（待機者）数やその状況（要介護度、介護者の有無など）
  - ・個室ユニット化の進展状況
  - ・施設整備が介護保険料、介護保険財政に与える影響
  - ・日常生活圏域ごとの施設のバランス
- 新サービス整備については、目標を超えて整備を行ったが、利用者、家族や介護支援専門員等には未だ十分に認知されているとは言い難い。今後とも周知を図っていく必要がある。



## 9. 介護保険サービス量の見込み

### 【推計と実績の比較】

第5期計画期間中の介護保険サービス量に係る次の項目の推計と実績を比較した結果は以下の通りである。

- 人口（総人口・40歳以上65歳未満・高齢者数（前期高齢者・後期高齢者）  
⇒・総人口は推計を上回る数字で推移しているが、65歳以上の高齢者数はほぼ推計どおりである。
  
- 被保険者数、要支援・要介護認定者数  
⇒・認定者数は推計を上回っており、特に軽度者での伸びが高い。
  
- 施設・居住系サービス利用者数  
⇒・施設利用者数は推計を下回っている。  
・施設利用者に占める要介護4・5の者の割合が高い。
  
- 標準的居宅サービス等受給者数  
⇒・要介護5における受給者数が推計を大きく下回っている。
  
- 標準的居宅サービス等見込み量  
⇒・サービスごとに差があるものの、全体的に推計を下回っている。

## 10. 介護保険料等

### 【標準給付費の見込額と実績について】

- ・標準給付費と地域支援事業費の合計額は、H24年度、H25年度ともに推計を下回っている。
- ・給付の合計額の増加率は、推計の半分程度となっている。